

# 在宅医療・介護連携推進事業研修会

～コーディネーターへの期待が高まっている今

他のコーディネーターの取り組みから学ぼう・自身の取り組みを振り返ろう～

## 次第

令和6年度老人保健健康増進等事業 在宅医療・介護連携推進事業のコーディネーター支援及びスキルアップに関する調査研究事業（富士通総研）

日時： 令和6年11月19日（火）10：30～16：30

場所： さいたま新都心合同庁舎1号館 会議室 5-1

（敬称略）

10:30	開会
10:40 ～11:05	<b>I.講義</b> 在宅医療・介護連携推進事業におけるコーディネーターの可能性 【資料1】 一般社団法人新潟県医師会 新潟県在宅医療推進センター 基幹センター コーディネーター 服部 美加
11:05 ～12:05	<b>II.事例報告：地域課題のタネ、どうやって見つけていますか？活かしていますか？</b> 事例①地域課題のタネ、どう見つけている？どう伝えている？ 【資料2】 ～動き出したら仲間が増えてくる、そして繋がる～ 医療生協さいたま 熊谷生協病院 熊谷市在宅医療支援センター コーディネーター松本 浩一 事例②地域課題のタネ、コーディネーター間でどう育てている？ 【資料3】 一般社団法人 新潟市医師会 地域医療推進室長 斎川 克之 事例③地域課題のタネ、市町村にどう伝えればよい？どう共有すればよい？ 【資料4】 千葉市保健福祉局健康福祉部 在宅医療・介護連携支援センター 所長 久保田 健太郎
12:05 ～13:00	(55分)
13:00 ～16:20	<b>III.これからの取組のヒントを得る ～自身の取組を振り返る・今後の取組を考える</b> ※適宜休憩時間を挟み実施します オリエンテーション 【資料5-1】 情報交換・意見交換 本日の振り返り・総括 【資料5-2】 (株)日本医療総合研究所 地域づくり推進部長・認知症介護研究・研修東京センター 特別研究員 川越 雅弘
16:30	閉会

（配布資料）

- ・ 資料1 在宅医療・介護連携推進事業におけるコーディネーターの可能性
- ・ 資料2 事例①地域課題のタネ、どう見つけている？どう伝えている？
- ・ 資料3 事例②地域課題のタネ、コーディネーター間でどう育てている？
- ・ 資料4 事例③地域課題のタネ、市町村にどう伝えればよい？どう共有すればよい？
- ・ 資料5-1 オリエンテーション コーディネーターに期待される役割とは
- ・ 資料5-2 本日の振り返り より良いコーディネーターの実現に向けて（資料5-2は最後にお配りします）
- ・ 参考資料 情報共有：参加コーディネーターの所属先について

※不足等があれば、お近くの事務局スタッフにお知らせください。